

科目名	施工管理技術							年度	2025
英語科目名	Construction Management Technology							学期	後期
学科・学年	電子・電気科 電気工事コース 2年次	必／選	選 2	時間数	60	単位数	4	種別※	講義
担当教員	計良 信和	教員の実務経験		有	実務経験の職種		電気技術者		
【科目の目的】 電気工事業界でリーダーとして活躍出来る技術者になる為に必要な、高度な国家資格を取得する事が出来る学力を、電気の基礎から応用まで総合的に身に付ける。									
【科目の概要】 この授業では、建設業法で定められた営業所ごとに置く専任の技術者、工事現場に置く主任技術者となるために必要な、電気工事施工管理技士（一次検定）の試験合格が可能な学力を身に付けることを目指します。									
【到達目標】 A. 施工管理技士の重要性を理解している B. 各種法規の重要性を理解している C. 関連分野の重要性を理解している D. 品質管理の重要性を理解している E. 工程管理の重要性を理解している									
【授業の注意点】 授業中の私語や授業態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業時限数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。遅刻、欠席、課題提出の遅れや未提出は、評価の対象とする。尚、オンライン授業であっても同じ条件となる。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	施工管理技士の重要性を深く理解し積極的に学んでいる	施工管理技士の重要性を深く理解している	施工管理技士が重要だと認識している	施工管理技士がある程度は重要だと認識している	施工管理技士は重要でないと考えている				
到達目標 B	各種法規の重要性を深く理解し積極的に学んでいる	各種法規の重要性を深く理解している	各種法規は必要であると考えている	各種法規はある程度は必要であると考えている	各種法規は必要がないと考えている				
到達目標 C	関連分野の重要性を深く理解し積極的に学んでいる	関連分野の重要性を深く理解している	関連分野の内容は必要であると考えている	関連分野の内容はある程度は必要であると考えている	関連分野の内容は必要がないと考えている				
到達目標 D	品質管理の重要性を深く理解し積極的に学んでいる	品質管理の重要性を深く理解している	品質管理は必要であると考えている	品質管理はある程度は必要であると考えている	品質管理は必要がないと考えている				
到達目標 E	工程管理の重要性を深く理解し積極的に学んでいる	工程管理の重要性を深く理解している	工程管理は必要であると考えている	工程管理はある程度は必要であると考えている	工程管理は必要がないと考えている				
【教科書】 4週間でマスター 2級電気工事施工管理 第一次・第二次検定									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 試験：80％試験を総合的に評価する。小テスト：10％授業内容の理解度を確認するために実施する。平常点：10％積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

